

MC・区事業主任 (RSD)の業務

役割

クラブが地域 YMCA に実現可能なサービス組織を提供出来るレベルに持っていけるようにメンバーシップ事業を高めるように指導する責任があります。

同時にクラブが出来て暫くの間は新クラブの運営状況を充分に見守り、早い期間に失敗することを防止するために助言をしていかねばなりません。任務を遂行するには、クラブを熟知すると共にあらゆる試みを実行し創造的な能力を発揮しなければなりません。

業務内容

1. クラブのメンバーシップを高める為に必要な指導を、地域事業主任 (ASD) から受ける。
2. メンバーシップを高める為に区のクラブリストを作ることに理事を補佐する。
個々のクラブの問題を分析し、そのメンバーシップを高揚させるために、上述のクラブとプログラムを考え出す。
3. 部長と一緒に働き、出来ればMCを成功させるために部長を巻き込む。
4. 11~19人のメンバーのクラブと新しいクラブのために、以下のように激励する。
 - (a) クラブ役員が適切に訓練される事を希望する。
 - (b) クラブブリテン、良く企画されたプログラム、月に2回の例会、クラブを挙げてYMCAおよびコミュニティのための奉仕を企画する。
 - (c) ゴールを、約60日以内に設定してメンバーシップ高揚する。
5. 10人以下のメンバーのクラブに対しては
 - (a) 新しいクラブが出来ていく過程のように、残留メンバーで行動方針の助言をしてプログラムを企画し実行する。
 - (b) メンバーシップ高揚を目指して、約60日位で遂行出来るゴールを設定する。
 - (c) プログラムの進展状況を見守る。
6. メンバーシップを高揚する為に、沈滞しているクラブを再建する為にクラブの進展状況を整備する。また新しく誕生したクラブはメンバー数と、サービスの強化に努力する。
7. メンバーシップとコンサーベーションに関してプロモーション用の記事を区報に掲載する。区が区報を発行していないなら、MCに関してのニュースレターを年に4回は発行する。そして、クラブ会長、クラブEMC委員長、理事、地域事業主任、部長に送る。
8. 毎季のレポートでMC進展状況を理事とアジア地域事業主任に提出する。クラブのMCの進展具合を総括して理事と地域事業主任に年次報告書を提出する。
9. 区大会でMCに関する研修集会の場を持つ。
10. MCについて部長やクラブ役員が研修するように、理事を補佐する。
11. 理事及び地域事業主任に対し、この業務説明書 (Job Description) の修正についての提言を行う。
12. 全てのMC事業記録を後任者に引継ぐ。

以上